

京都教区時報

<https://www.kyoto-catholic.net/>

カトリック京都司教区
広報委員会
京都市中京区
河原町通三条上る
TEL 075-211-3025
FAX 075-211-3041
honbu@kyoto.catholic.jp

2026年 司教年頭書簡を受けて



©Vatican Media

第2回 唯一のお方の中に、わたしたちは一つ

教皇レオ十四世の紋章、モットーは聖アウグスティヌスの言葉が反映されています。

紋章は聖アウグスチノ修道会を思わせるもので、聖アウグスティヌスが自身の回心の体験を「あなたは、あなたの御言葉でわたしの心臓を貫きました」という言葉で表したことによると、モットーの「唯一のお方（キリスト）の中に、わたしたちは一つ」も聖アウグスティヌスの詩編注解の言葉から引用されていて、この紋章とモットーはレオ十四世の司教時代のものを基本的に継承しているそうです。それには理由があるようです。

2023年7月、枢機卿に指名されたプレヴォスト大司教（教皇レオ十四世）は、バチカンのメディアのインタビューで、「わたしの司教モットーからも明らかのように、一致と交わりは、まさに聖アウグスチノ修道会のカリスマであると同時に、わたしの言動の基本でもあります。教会の一致を育てるることは大変重要なことだと思っていました。ご存じのとおり、交わりと参加、宣教はシノドスの3つのキーワードでもあります。こうした

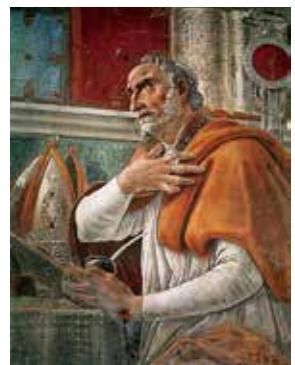
ことからも、アウグスチノ会士である私にとって、一致と交わりは本質的なことです。聖アウグスティヌスは、

教会における一致と、それを生きる必要についていつも説いていました」と述べています。

分断と対立が深まる世界にあって、聖アウグスティヌスの教えと価値観に深く根ざしておられる教皇レオ十四世のバチカンから発信する平和と協調へのメッセージが今後期待されます。レオ十四世はローマ教皇着座以来、ミサの説教、あるいは講話などで話される中で、度々聖アウグスティヌスの言葉を引用されています。今、四旬節にあつて祈りのヒントになるように思います。

聖アウグスティヌスの教えは古典に入るかもしれないですが、私たちがその言葉を聞き、実践することによって、その教えは新しい信仰生活の糧になると思います。

京都北部ブロック担当司祭
レデンプトール会 三輪周平



聖アウグスティヌス

大塚喜直司教年頭書簡
〔教皇レオ十四世 希望と一致の橋をかける牧者〕



3
2026

2025年度教区宣教司牧評議会
各ブロック・小教区報告の
司教全体総括

†パウロ大塚喜直

2025年の京都教区における9つのブロックの宣教司牧計画の評価、ならびに各ブロックから提出された「一年のふり返り」「特に喜ばしかったこと」「十分に取り組めなかつた課題」を丁寧に読み合わせた上で、京都教区全体の現状と課題について分析を行いました。

各ブロック・小教区の皆さんにわかり祈りと奉仕を重ね、困難の中でも希望の芽を育んできましたことに、心からの感謝を申し上げます。この分析は、単なる総括ではなく、京都教区全体が「どこに立ち、どこへ向かうのか」を見定めるための出発点です。主がこの一年の努力を豊かに祝福し、次の希望への道を導いてくださることを信じつつ、ここに全体の分析をまとめます。

■ 2025年度は、聖年「希望の巡礼者」を共通の軸として、①巡礼、②交流、③祈り、④多国籍信徒との交流が教区各地で展開され、「教会のつながりが可視化された一年」となりました。とりわけ巡礼を中心とした取り組み

は、教会が単なる「集まる場」ではなく、共に歩む共同体であることを多くの信徒が実感する機会となりました。また、他教会との交流や外国籍信徒との交わりを通して、教会の多様性と豊かさを再発見できることは、大きな恵みであったと言えます。

一方で、この一年の歩みは、教区が直面している課題をより明確に浮かび上がらせるようになりました。

(1) 教会活動を支える担い手の不足、担い手の固定化や高齢化が進み、限られた人に負担が集中している現状があります。

(2) 子どもや若者が一時的には参加しても、教会生活に継続的に関わることが難しいという課題が依然として存在します。

(3) 宣教活動が年間行事の消化に追われ、本来目指すべき「福音を生き、分かち合う営み」との関係が見えにくくなっているという、宣教の方向性の不透明さも否めません。

しかし同時に、この一年の中には、次の教会像を示す重要な兆しも確かに現れています。

(1) 子どもや若者が主体的に関わろうとする姿、外国籍信徒が奉仕の担い手として自然に受け入れられている場面、小グループで祈りや分かち合い

を深める中で生まれる信頼関係。これらは、「規模」や「人数」では測れない教会の生命力を示すものであり、今後の宣教司牧の方向性を示唆しています。

(2) これらを総合すると、京都教区に求められているのは、「教会を大きくすること」や「活動を増やすこと」そのものではありません。むしろ、信徒一人ひとりが互いに支え合い、共に祈り、共に学び、共に成長していく「担い合う教会」「育ち合う教会」への質的転換が必要であることが、今年度の歩みを通して明らかになりました。

(3) 聖年「希望の巡礼者」が私たちに示したのは、完成された教会像ではなく、道を歩み続ける教会の姿です。今後の京都教区の宣教司牧は、この気づきを一過性の成果に終わらせるのではなく、日常の教会生活の中に根づかせ、次世代へとつないでいくことが求められています。

2025年12月13日に行われました「カトリック京都司教区宣教司牧評議会・第26回会議」の詳細は、京都教区のHPに掲載しています。この司教の総括の全文は下記から読むこともできます。



**祝 チェジュ教区司祭・助祭叙階式
新司祭1名、新助祭4名誕生**



キム・ソクウ新司祭

グアク・ホギ
新助祭オ・ムンホ
新助祭キム・ボムジン
新助祭イ・ジョンウ
新助祭

京都教区とチェジュ教区は、2005年6月に姉妹教区の縁組をし、司祭・神学生・信徒間の交流を行っています。

1月17日④三位一体大聖堂において、チェジュ教区の司祭・助祭叙階式が行われました。叙階された5名の方々の上に、主の恵みが豊かにありますように。



写真はチェジュ教区の公式 YouTube より

春プロジェクト ご案内

今年も「春プロジェクト」を開催します！

「春プロジェクト」とは、京都カトリック青年センター主催で毎年春に行っているイベントです。新しい仲間を迎え、レクリエーションや分かち合い、ご飯作り、歌などさまざまなプログラムを通して交流を深め、仲間とともに信仰を育んでいく…そんな青年同士のつながりをつくる企画です！

詳細は公式LINEやInstagramで後日お知らせしますので、ぜひこの機会に各種SNSをフォローしていただけるとうれしいです！

伏見教会 寺田英樹



昨年の春プロジェクト



青年センターあんみな

訃 報

ポール・グリン神父様 (マリスト会)



1月23日、オーストラリアにて帰天。97歳。
1953年司祭叙階。長年にわたり、京都教区、特に奈良での司牧に献身してくださいました。
神父様の永遠の安息をお祈りください。



お知らせ

司 教

大塚司教の予定

最新の情報は京都司教区のホームページにてご確認ください。

教 区



性虐待被害者のための祈りと償いの日ミサ

日時・場所：3月6日㊁ 10:30 河原町教会
司式：大塚喜直司教

丹波教会園部聖堂閉鎖感謝ミサ

日時・場所：4月5日㊁ 15:00 園部聖堂
司式：大塚喜直司教

小学生待者合宿

日時：3月30日㊁～4月1日㊂
場所：西院教会（最終日は河原町教会にて
聖香油ミサで奉仕）
対象：新4年生、新5年生、新6年生
申込・問合せ：信仰教育委員会
メール shinko_kyouiku@kyoto.catholic.jp
Fax 075-223-3371
■教区時報5月号の原稿締切日 3月23日㊁

司祭・司牧者人事異動のお知らせ

青少年委員会 担当司祭（1月1日付）

京都カトリック青年センター
ソ・ウォンハ師 小立花 忠師

中学生会
菅原友明師 ソ・ウォンハ師
M.ブルース師 出水 洋師
イ・ウォンギュ師

中高校生広島巡礼
出水 洋師 ソ・ウォンハ師
イ・ウォンギュ師 M.G. ホルヘ師

高校生会
小立花 忠師 ホセ・アントニオ C.師
G.ランディ師 M.G. ホルヘ師

アジア体験学習
G.ランディ師 ホセ・アントニオ C.師
菅原友明師

皆さまのまわりに点訳版「京都教区時報」が必要な方がおられないでしょうか。点訳版「京都教区時報」をご希望の方がおられましたら、「点訳ネット・レジナ」笠松幸彦さんまでお申込みください。無料でお送りします。

Tel・Fax/072-722-0271

大阪高松教会管区



望洋庵

講座案内

3月8日㊁ 10:45

信徒のためのキリスト教講座

3月12日㊁ 19:30

聖書入門講座（夕食 18:30）

3月15日㊁ 16:00

大学生と青年のためのキリスト教講座

3月22日㊁ 10:30 キリスト入門講座

Facebook や Instagram もご覧ください。

諸 団 体

京都カトリック混声合唱団

3月8日㊁ 14:00 聖歌練習

3月28日㊁ 17:30 練習後ミサ奉仕

場 所：河原町教会聖堂 団員募集中

問合せ：075-951-4283 則武 隆

コーラ・チェレステ（女声コーラス）

練 習：3月12日㊁ 10:00

3月26日㊁ 10:00

場 所：河原町教会2階樂廊 新会員募集中

問合せ：駒井和子 075-561-5971

聴覚障がい者の会・京都グループ

手話ミサ表現学習会（聖書と典礼）

日 時：3月17日㊁ 13:00～15:00

場 所：河原町教会地下ヴィリオンホール

問合せ：鎌田 修 090-1967-5636

kamadaosamu@gmail.com

心のともしび

ラジオ番組案内（全国34局で放送）

3月主テーマ「道」

KBS京都 月～金 朝5:55

㊁ 朝5:15

ラジオ関西 月～金 朝5:00

㊁ 朝6:05

毎日放送 月～金 朝5:45

㊁ 朝4:55



カトリック京都働く人の家

読書会・遠藤周作「イエスの生涯」

日 時：3月8日㊁ 九条教会9時ミサ後

場 所：九条教会内働く人の家

対象者：どなたでも

問合せ：瀧野正三郎 090-8207-1831

